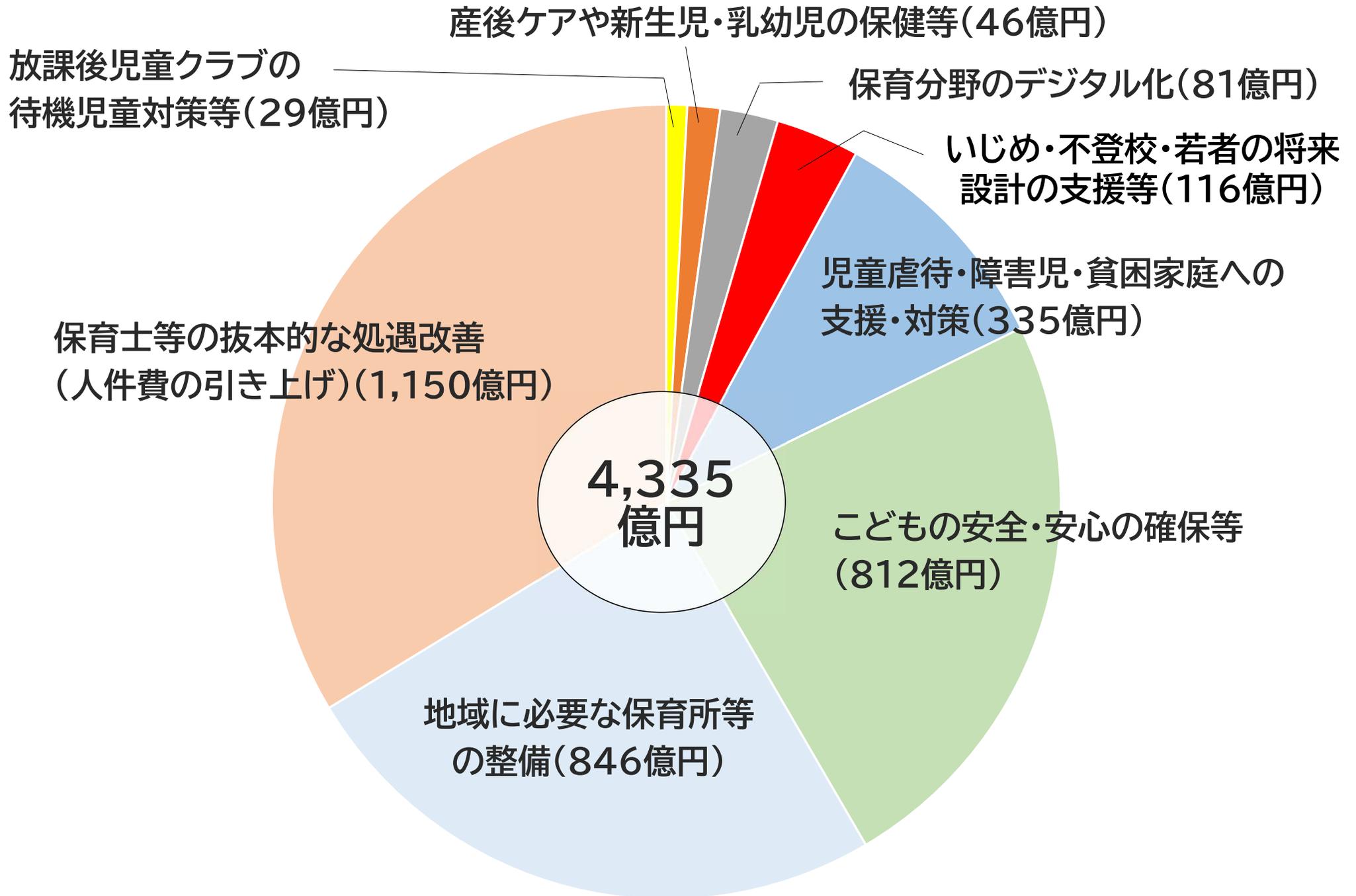


「すべてのこども・若者の幸せと未来を守る」との決意の下、取組を強化・加速



※上記のほか、旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた者等に対する補償金等の支給等(878億円)、保育士修学資金貸付等(40億円)

# 困難に直面するこどもの幸せを守り抜く

## 新たに地域の「こどもホスピス」への支援を開始

生命を脅かす病気を抱える(LTC)こどもとその家族が、病院と自宅以外の居場所として、家族と一緒に、安心して遊びや学び、こどもとして「生きる」ことを全うできるような体験をしたり、家族にも安らぎの場となる環境を提供する施設・取組

国内のLTCのこども  
約**2万人**

↓ (※) 民間調査による機械的な推計値。

国内のこどもホスピス  
まだ**数か所**程度

↓ (※) 寄付等により運営している施設。

こうした中、各地で、地域で協力して「こどもホスピス」の活動を立ち上げる動き

### 補正予算

#### 地域でこどもホスピスを行う民間団体を自治体が支援するモデル事業を開始

- 遊び、学び、こども同士の交流、グリーフ・ケアなどの家族支援等の活動を財政支援等
- 地域の関係者らが支援の方策や管内の実態把握等を行う協議会等の開催が必須

(※) 地方自治体による民間団体への支援に国が補助

生命を脅かす病気を持つこどもとその家族の笑顔を増やすため  
こどもホスピスの全国普及に向けた取組を進める

# こどもホスピスの例



こどもや家族にとっての当たり前が実現できる場所



# 困難に直面するこどもの幸せを守り抜く

生まれてきてくれたこどもの命と笑顔を全力で守り抜く

## 児童虐待防止に必要な措置を前倒し

児童虐待防止には、総合的な対策が必要

1. 発生予防・早期発見

2. 虐待発生時の迅速対応

3. 被虐待児童の自立支援

補正予算で、児童虐待対策のポイントとなる取組を前倒し

こども家庭センターの  
設置を加速、機能強化

- ・ 都道府県が行う市町村への相談（コンサルティング）・研修等を支援し、設置促進・機能強化

令和8年度末までに  
全市町村に設置

児童相談所の体制強化

- ・ デジタル・AIの活用により、職員の業務サポートと対応力を増強

一時保護施設的环境改善

児相・警察間でリスク情報を  
リアルタイム共有

- ・ 全国の警察署等に児童相談所と直結した情報端末を配備  
⇒ リスク情報をリアルタイムで共有

温かく安定した家庭環境を提供する  
里親等委託の推進

- ・ 「共働き里親」の増加に向けて、企業等を活用したモデル事業で、勤め先の協力や送迎支援など、先駆的な事例の創出等を図る

被虐待児が、温かく安定した  
家庭環境で生活できる  
里親等委託の更なる推進

# ひとり親家庭等への支援の強化

## ひとり親家庭等の実情を踏まえ寄り添う支援を強化

令和6年度補正予算

本人の力や意欲を引き出しつつ、安定し、実情に沿う(両立サポートなど)

仕事への就労・定着

### 民間企業と協働した就業等の支援

(取組例) 企業とのマッチングを活用した強力な就業・定着支援

まず、企業と  
マッチング  
(⇒就職先を決定)

業務内容を見据え  
て講座受講、職場  
訓練(OJT)等

就職予定先に  
確実に就労・定着  
(⇒経済的安定)

### デジタルで、ひとり親の「悩み」を「支援」につなぐ

仕事と子育てで忙しいひとり親は  
行政窓口との接点が持ちづらい

(例) 関係部署間の情報共有システム⇒包括的・一体的支援  
チャットボットで支援制度や担当窓口を案内

### 「こども食堂」をサポートする法人を支援

「こども食堂」は増えているが、  
地域差が大

全国6つのブロックごとに「支援法人」を決定  
支援法人によるサポートを国が下支え  
(運営面・食材物資費用)



ひとり親家庭の  
「悩み」を「支援」につなぐ

貧困、孤独・孤立した  
こどもを地域で支える

経済団体に対して、「ひとり親家庭等への就業支援」での協力を呼びかけていく

## 「すべてのこども・若者の幸せと未来を守る」との決意の下、取組を強化・加速

R6補正予算案:4,335億円

### 「こどもまんなか」のバージョンアップ (14億円)

- こどもまんなかアクションの加速等
- こども・若者視点の現場主義の強化
  - ・ 審議会等の委員へのこども・若者の登用推進等
- こども家庭庁におけるEBPMの強化 等

### 地域の若者の将来設計の可能性の最大化 (170億円)

- 地域の若者のライフデザイン(将来設計)への支援(95億円)
  - ・ 地域少子化交付金の拡充と要件の大幅な簡素化
  - ・ 民間企業と連携した地域の若者のライフデザイン支援を開始
  - ・ 若年世代を対象としたプレコンセプションケアの推進 等
- 地域で安心して妊娠・出産できる環境の整備(46億円)
  - ・ 遠方で妊婦健診を受診する妊婦のための支援事業の創設
  - ・ 産後ケア施設の改修費等の支援 等
- 誰でも地域で無理なく子育てできる社会への転換(29億円)
  - ・ 全国各地の放課後児童クラブの拡充・強化
  - ・ 新たなアプローチで放課後待機児童の解消を目指すモデル事業
  - ・ 入院中のこどもの家族の付添いの環境改善 等

### 未来を担うこどものための質の高い成育環境の提供

- 多様で質の高い保育の持続的な確保(2,117億円) (2,929億円)
  - ・ 保育士等の処遇の抜本的な改善
  - ・ 利用者の保育所等の選択に資する情報提供の充実
  - ・ 「はじめの100か月の育ちビジョン」の推進
  - ・ 保育の提供体制の確保
  - ・ 過疎地域における保育機能の確保・強化 等
- こどもの安心・安全の確保等(812億円)
  - ・ 改正子ども・子育て支援法及び子ども性暴力防止法の円滑な施行に向けた準備
  - ・ こどもの居場所づくりへの支援の強化
  - ・ 保育所等の防災・減災対策の強化・加速 等

### すべてのこどもの幸せを守り抜く (343億円)

- いじめ・不登校対策等の強化(8億円)
  - ・ こどもの悩みの受け止めの強化に向けた新たな取組
  - ・ 学校外からのアプローチでのいじめ解消
  - ・ 地域における新たな不登校対策
- ひとり親家庭等への支援の強化(25億円)
  - ・ 民間企業と協働したひとり親家庭の就業・定着の一体的支援の開始 等
- 困難に直面するこどもの幸せを守り抜く(311億円)
  - ・ 地域におけるこどもホスピスへの支援を新たに開始
  - ・ ヤングケアラー支援の強化
  - ・ 児童虐待リスク情報の共有の迅速化、児童福祉施設等の整備促進
  - ・ 共働き里親等への支援 等

このほか、旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた者等に対する補償金等の支給、周知広報、円滑申請のためのサポート体制の構築 (878億円)